

正しく選んで使うための

クラウドの基本

クラウド時代にも迷わない

環境の変化に迅速に対応するための

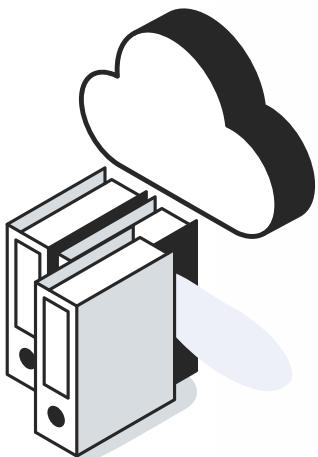
システム運用ノウハウ



クラウドとは？

クラウドとは「クラウドコンピューティング」や「クラウドサービス」の略で、コンピューティング、データベース、ストレージ、アプリケーションをはじめとした様々なITリソースを自身で所有・利用するのではなく、事業者が所有する設備にインターネット経由でアクセスし、サービスとして利用する形態の総称です。

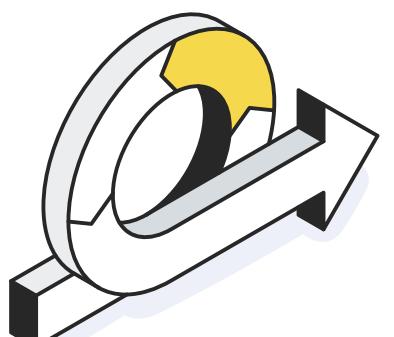
クラウドサービスのメリット



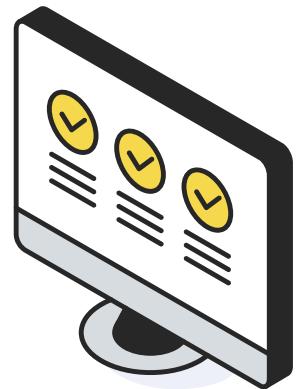
所有から利用によるコスト転換



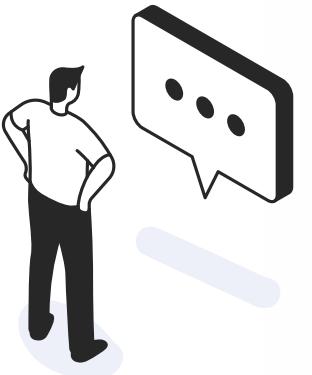
スケールによるコストメリット



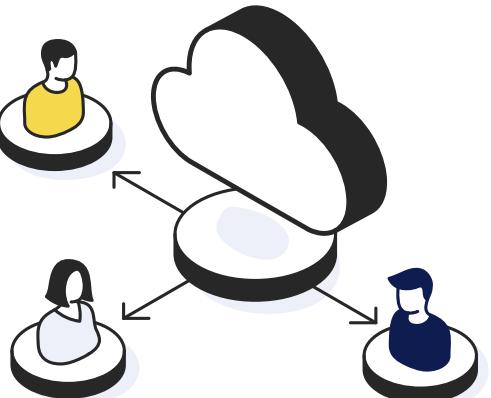
システム設計のサイジングが不要



最新の技術をすぐに導入



運用管理の負担が軽減



時間や場所を問わずに利用

代表的なクラウドサービスの種類

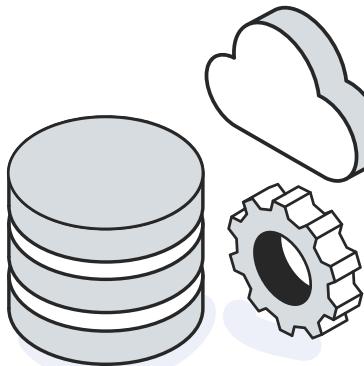
一言で「クラウドサービス」と言っても、ユーザがアクセスできる範囲やカスタマイズ可否などの項目によって大きく分類することができます。一概にどの形態が優れているとは言えず、ユーザが自分の利用目的に合ったものを選択する必要があります。

1. Infrastructure as a Service (IaaS)



通常はサーバやコンピュータ、ネットワークといった、インフラ関連設備そのものを提供します。基盤となるインフラそのものはクラウド事業者が管理しているものの、ユーザはその上で、OSを含む任意のソフトウェアを自由に動かすことができるのがIaaSの特徴です。

2. Platform as a Service (PaaS)



アプリケーションを動作させるハードウェア、OSやミドルウェアといったプラットフォームを提供します。ソフトウェアメンテナンス、パッチの適用などの運用に関連する煩わしい作業は事業者が実施するため、アプリケーション開発、運用に専念できます。

3. Software as a Service (SaaS)



サービス事業者が運用、管理しているアプリケーションを利用するだけのサービスです。ユーザは提供されているアプリケーションの機能を利用するだけで自分専用のカスタマイズはできませんが、システム運用から開放され、使用や活用に専念することができます。

メリット

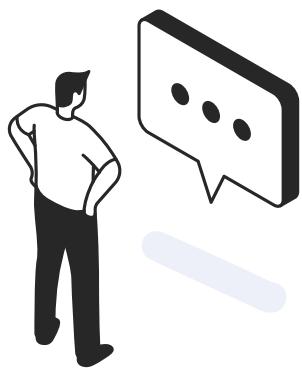
クラウドサービスを利用する場合の代表的なメリットを3つ紹介します。クラウドとその対極にあるオンプレミス（自社所有）を比較した場合のメリットです。

1. コストを抑えられる



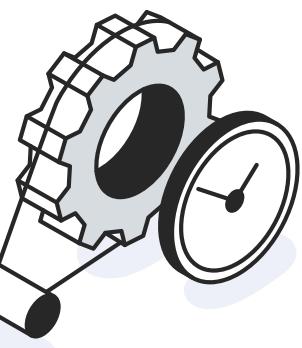
サーバ筐体やライセンスを所有すると、その購入費や保管場所にコストが発生することはもちろん、使用年数に応じた減価償却資産として管理する必要があります。一方でクラウドサービスで発生するコストは経費として処理できる月額の利用料のみになることが大半です。その月額利用料も、クラウドサービス事業者は規模の経済を活かし、自社で同等の環境を用意する場合よりも安価に提供することができます。

2. 運用負担を軽減できる



筐体を自社で所有している場合は、そのスペースを確保するためのコストやパッチやアップデートの適用など、システムの安定稼働のために定期的な監視を目的に人員を確保したり別のシステムを導入する必要があります。クラウドサービスでは自社にとって適切なサービス形態を選択することで、アプリケーションの機能追加や運用設計など、本当に集中するべき事項にフォーカスすることができます。

3. 拡張性が高い



自社でITリソースを調達する場合、数年を見越したシステムの利用需要の予測がクラウドサービスでは不要になります。自社所有リソースの場合では事前に想定した最大利用量が処理できる分を調達し、利用量が少ない間は無駄なリソースの発生が発生しますし、逆に不足があれば利用が制限されたりします。クラウドサービスではクリック一つで利用量に応じたITリソースの調整を即座に行うことができます。

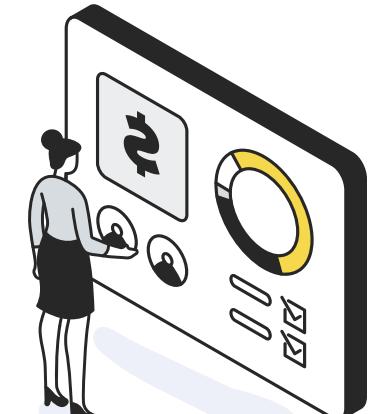
デメリット

クラウドサービスを利用する場合にデメリットとなり得る事項を3つ紹介します。これらを理解・納得して利用する際にはデメリットで無くなることが大半です。



セキュリティリスク

インターネット経由で各サービスにアクセスできるようになるメリットがある一方で、全世界から不正アクセスや情報漏えいといったリスクが潜んでいることも事実です。各サービスを利用する際は、そのサービスがどんなセキュリティ対策を講じていて、どんな保証をしているかなどをしっかり事前に調査した上で利用する必要があります。



インターネット必須

インターネットに接続できればアクセスする場所や端末、時間に関係なくサービスを利用することができますが、地方や海外、また停電などインターネットに接続できなければ利用することはできません。不測の事態に備えて重要なデータを保存・バックアップ回線を準備するなど、サービスの重要度に合わせてBCP対策を検討する必要があります。



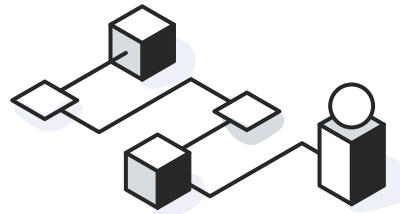
カスタマイズ不可

クラウドの基本的な考え方は「利用」のため、ユーザ全員でサーバやアプリケーションなど提供されているサービスを共有している状態です。サービスによっては設定レベルの変更やある程度の制御が可能なものもありますが、自社の使い方にピッタリと合うとは限りません。特にSaaSではアプリケーションに自社の業務を合わせていく必要があるため、その前提でサービスを選択しなければなりません。

クラウドサービスの選び方

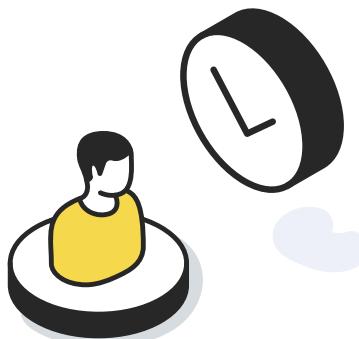
ここまで説明した通り、クラウドサービスには様々な種類とそれぞれにメリットとデメリットが存在します。次のような観点に注意することで本当に使われる、また高い導入効果を得ることができます。

1. 連携性



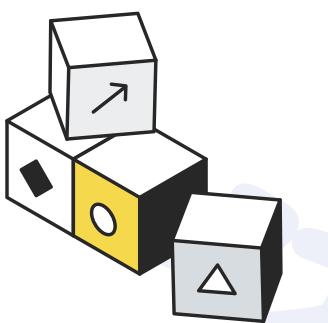
オンプレミスで動作している既存システムとの連携や既に契約しているクラウドサービス間でデータの受け渡しができることを確認しておく必要があります。社内ネットワークとプライベート接続を経由して接続したり、APIを用いてデータ連携できるようなクラウドサービスを契約しておけば安心です。

2. 運用負担を軽減できる



対象業務が各サービスで提供されている機能と合致するのか、差がある場合は設定レベルで対応できるのかなど、精緻なFit&Gapを確認することが大切です。一般的にSaaSの方が安価になるケースが多いですが、要件を実現するためにはIaaSから契約が必須な場合があり、一概に費用だけで決めるのは危険です。

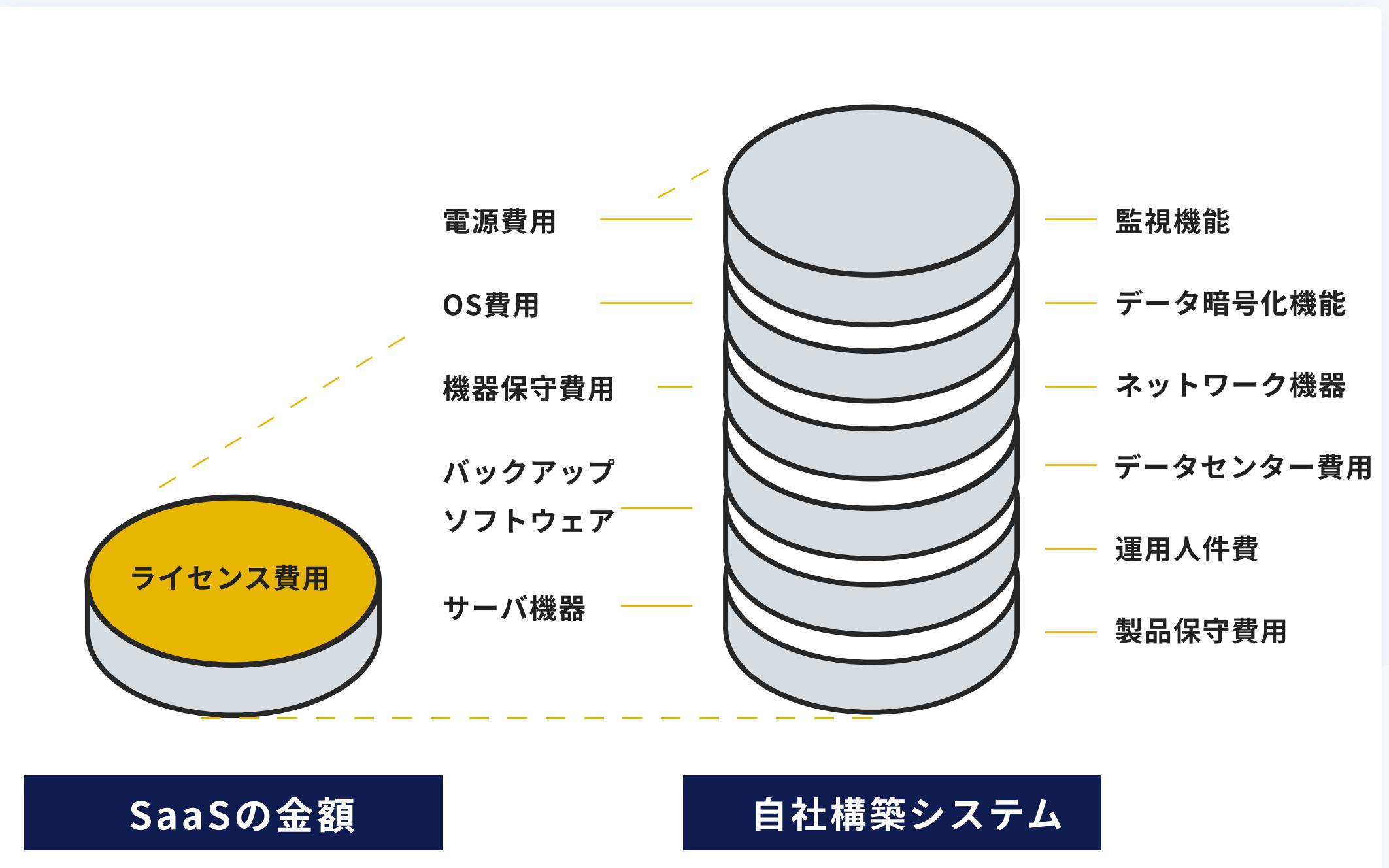
3. 拡張性が高い



SaaSのアプリケーションを利用中、業務の変化や新たな要件の実現などでPaaSへ移行する必要がある場合、別のPaaS事業者と新規に契約して環境を構築することは大変ですが、同じ事業者がSaaSとPaaSを提供していれば、事業者側の移行ツールなどを利用してスムーズな移行を実現できます。

クラウドサービスの運用コスト

クラウドサービス、特にSaaSは月額の固定額、もしくは利用量に応じた従量課金という料金体系が大部分です。一方でクラウドサービスと同じ設備を自社の構築・運用する場合、どのような費用が発生するでしょうか？



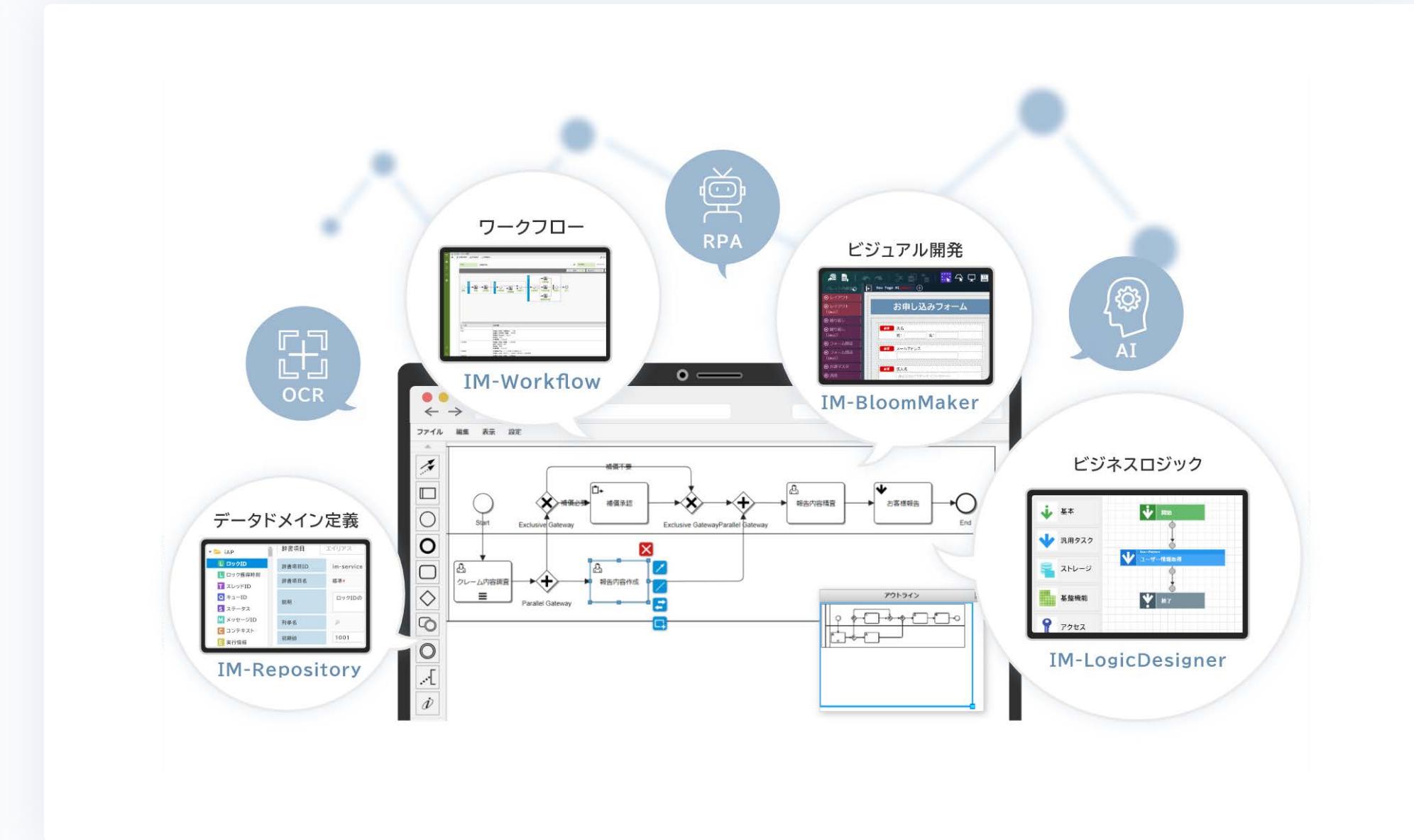
※掲載している費用一例です

例として、勤怠管理のSaaSと自社アプリケーションを構築・運用した場合の費用例を見てみましょう。SaaSでカスタマイズが無い場合は月額費用だけが発生します。自社構築の場合でパッケージ製品をカスタマイズ無しで導入した場合でも上記の図に掲載の費用が発生します。

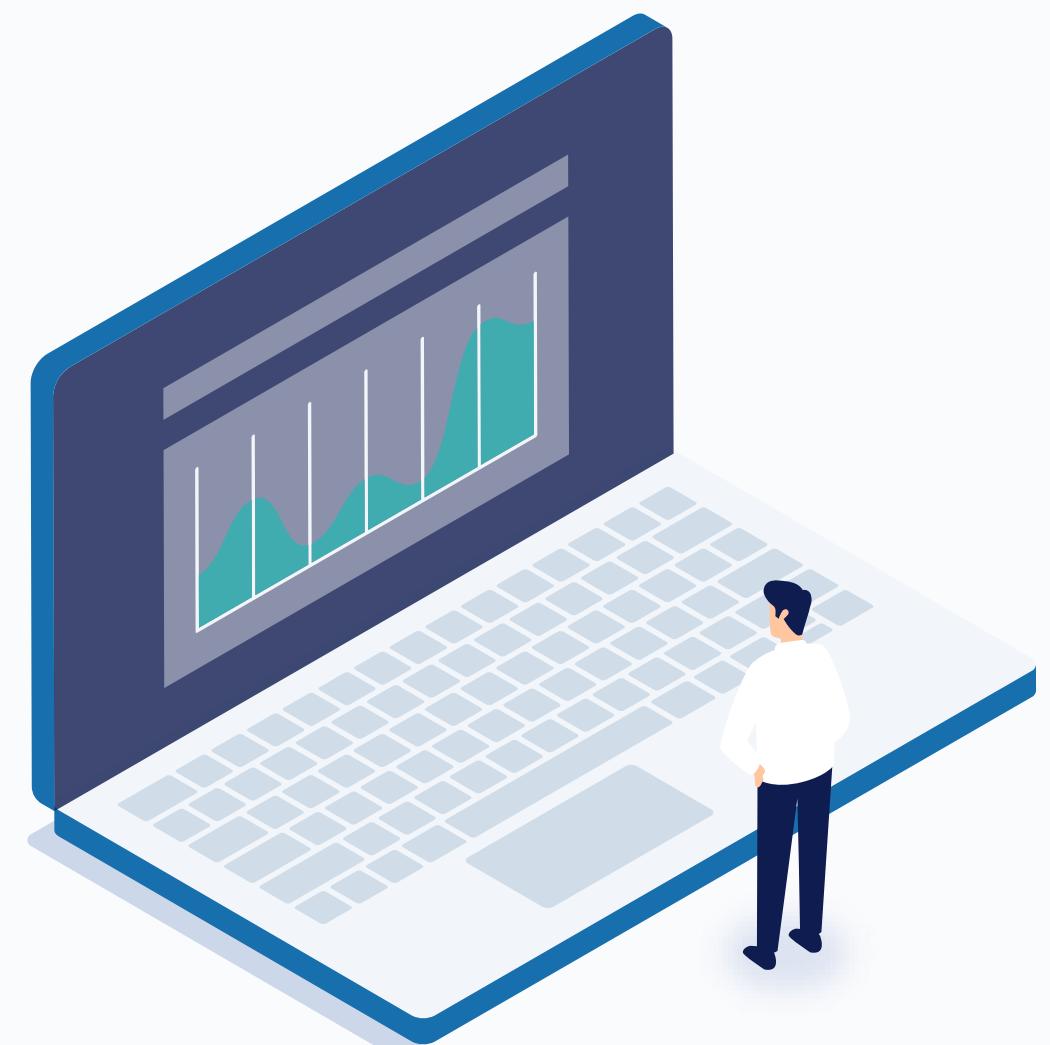
サービス概要

Accel-Martとは

Accel-Martは、プログラミング初心者から上級者まで、業務用アプリを開発できるプライベートクラウドサービスです。プログラミングの知識がなくても簡単に業務用アプリを開発できる「Quick（クイック）」と、プログラミング知識のある方向けに業務用アプリに必要な開発環境を充実させた「Plus（プラス）」の2種類をご用意しています。



プロレベルの業務アプリケーションを簡単に構築



すぐに始められる

事前に構築されたテンプレート、ドラッグ＆ドロップでの簡単操作、すばやいデプロイ機能を使用して、今すぐアプリケーションを構築できます。

Accel-Mart Quickはお申込みから最短30分でご利用可能

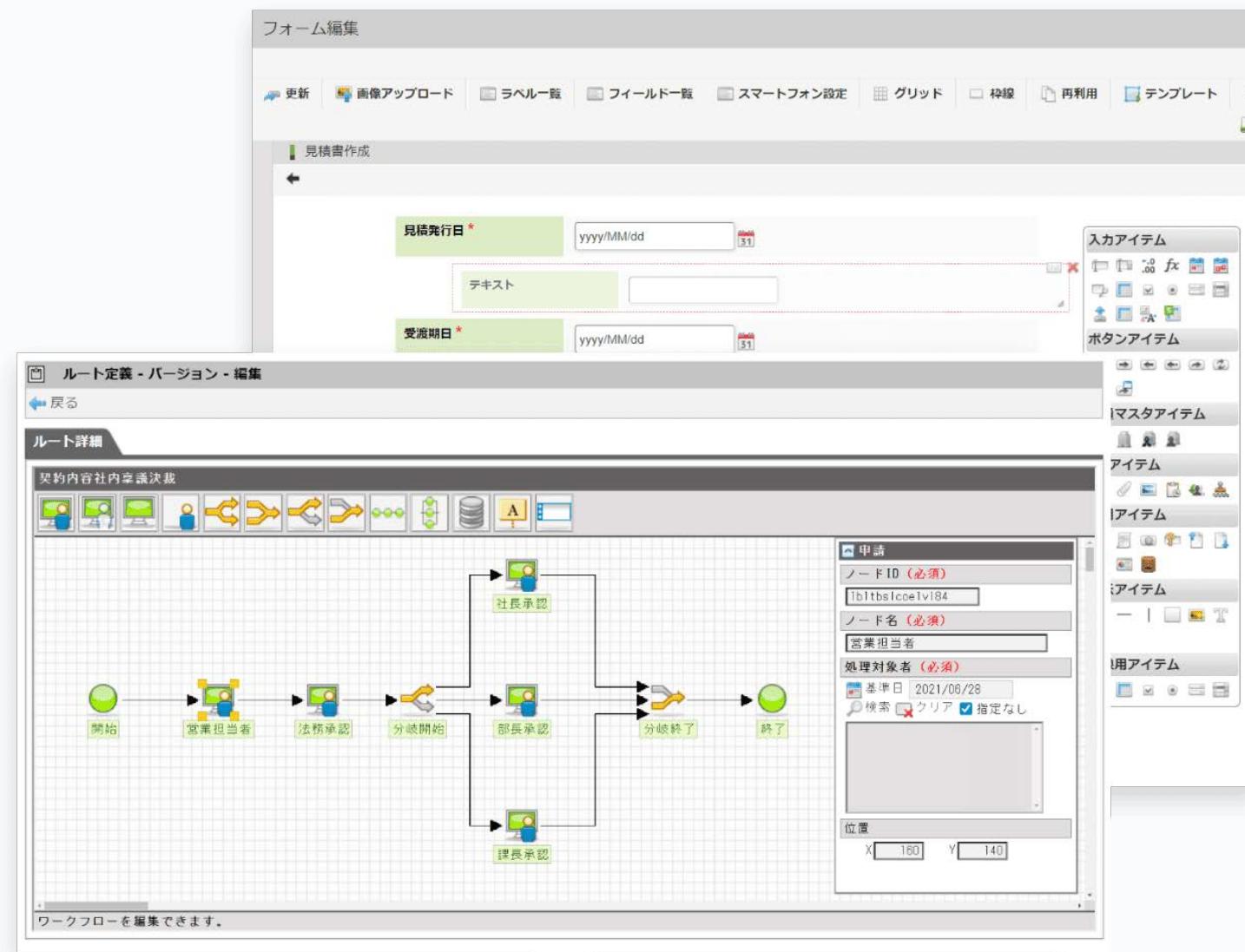
アプリを構築する

intra-martのローコード開発を利用して、お客様の業務に合わせた適切なトレーニングにより、現在の業務部門担当者をシステムに精通した専門家に変えることができます。事前に構築されたUIコンポーネントや業務ロジッ

開発者による拡張

簡易なフォーム画面から複雑な業務画面まで、プログラミング知識がない方でも開発可能です。intra-martのローコード開発機能ではドラッグ＆ドロップなどの操作で簡単にシステムを構築可能で、業務の変化にも柔軟に

様々な業務パターンをカバーするワークフロー



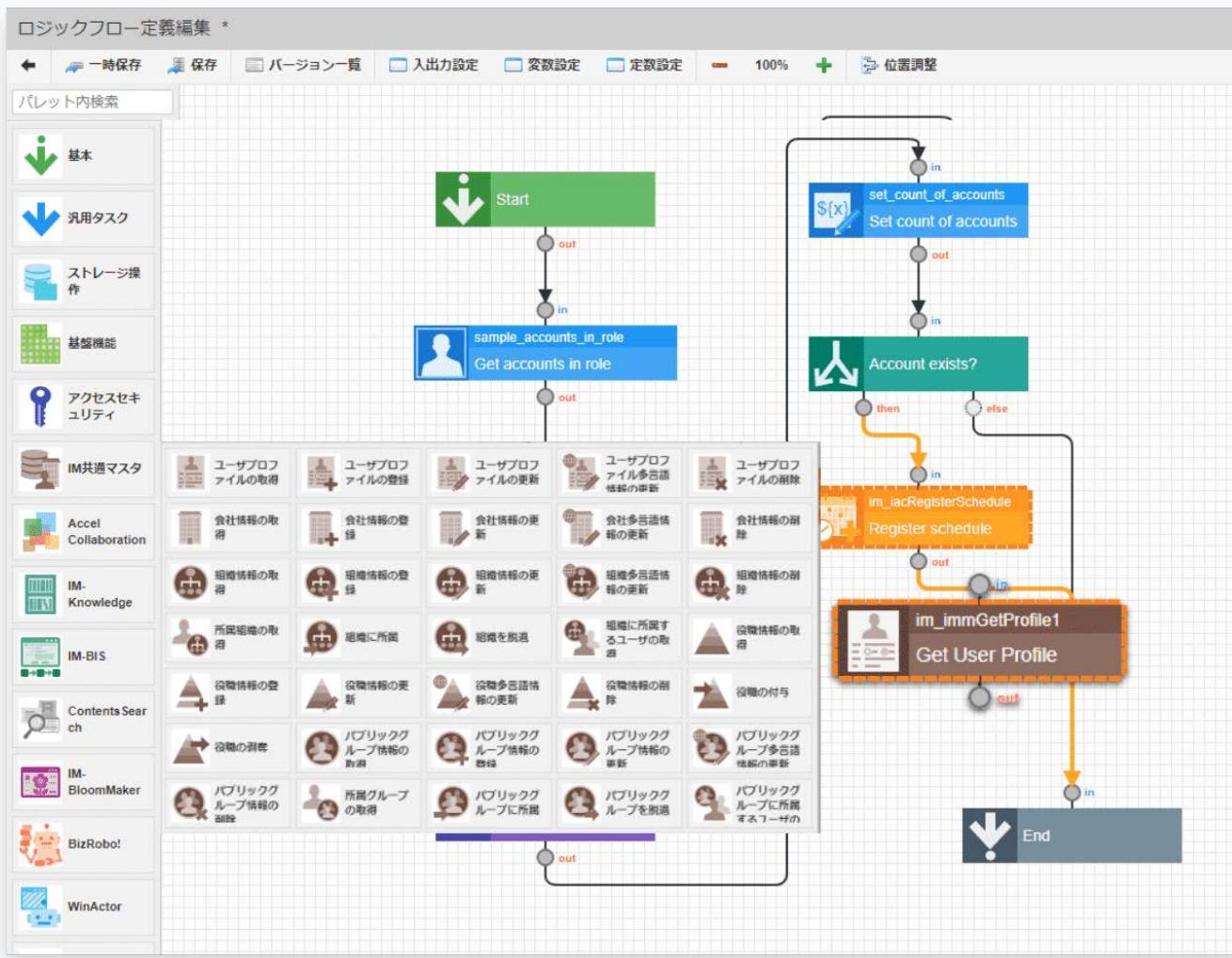
多彩なテンプレート

様々な用途に合わせた業界・業種別のワークフローテンプレートを100種類以上ご用意しています。テンプレート以外にも、自社にあった申請・承認画面をノンプログラミングでドラッグ＆ドロップで簡単に作成することもで

複雑な承認ルートを簡単実現

簡易なワークフロー機能を搭載したプラットフォームはもちろん、他のワークフローシステムでもここまで の自由度はありません。複数部門による申請・承認や条件分岐から別のワークフローへの連携まで、複雑な申請・決

柔軟につながる、システム連携



柔軟につながる、システム連携

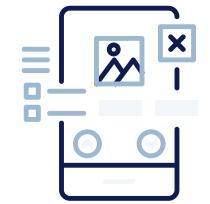
業務プロセスの中には、人や紙によるアナログ作業や複雑な処理も混在しています。イントラマートには、これらの処理を円滑に行うための、AI・RPAなどのデジタル技術や様々な既存システムや他システムと連携を可能とするコンポーネントを準備しています。

取引先を含めた、複雑なオペレーションもシームレスにこなすことができます。

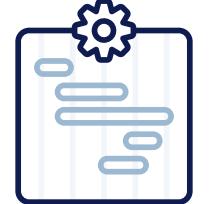
機能一覧

Accel-Martには、豊富な機能が充実。

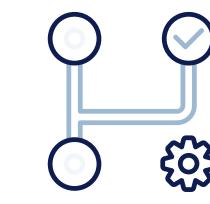
ローコード開発、BPM/ワークフローなど業務アプリに欠かせない機能をお使いい



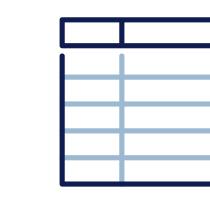
ローコード開発



ワークフロー



BPM



スプレッドシート



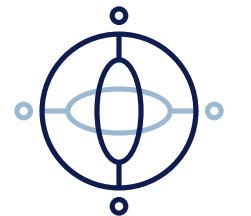
チュートリアル



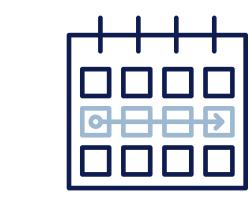
業務テンプレート



社内ポータル



Wiki



スケジュール



会議室予約



社内SNS



他システム連携

インフォメーション

認証・認可

マスタ管理

ドキュメント管理

全文検索

表・グラフ自動作成

人数規模・使用用途で選べる2プラン

利用いただく人数規模や使用したい項目数に応じて柔軟に対応できるように2つのプランを用意しています。



Accel-Mart Quick

Accel-Mart Quickは少数規模からご利用いただけるエントリープランです。申し込みから最短30分で導入可能です。プログラミング初心者でも安心してご利用いただけます。



Accel-Mart Plus

Accel-Mart Plusは全社規模向けに推奨するプランです。クラウド上で本格的に開発することができます。またエントリー向けのQuickからPlusへの移行が可能です。

Accel-Mart Quickの料金

Accel-Mart Quickは少数規模からご利用いただけるエントリープランです。
申し込みから最短30分で導入可能です。プログラミング初心者でも安心してご利用いただけます。

Accel-Mart Quick 利用料

価格 1ユーザ **¥1,500/月**

オプション 追加ストレージ5GB **¥1,000/月**

※最低利用ユーザー数20名からのお申込みとなります。
※2023年5月末現在の価格です。

Accel-Mart Quickはこんな人にオススメです

- 業務用アプリをコストを抑えて開発したい
- 業務プロセスのデジタル化・自動化を実現したい
- なるべく早く業務用アプリを開発したい



Accel-Mart Quick 導入の流れ

- 01
- 02
- 03
- 04

試用

31日間すべての機能を無料でお試しいただけます。

本登録

トライアル版終了後、本登録が完了すると有償でのご利用開始となります。

開通

トライアル版のデータを引き継ぐことも、新規で環境を用意することもできます。

運用拡大

サービス導入効果を最大化し、成功に導くためのカスタマーサクセスをご用意しています。

31日間の無料お試し実施中

https://admin.quick.accel-mart.com/imart/accel_mart_quick_admin/entry

Accel-Mart Plusの料金

Accel-Mart Plusは高機能・開発者向けに推奨するプランです。
全社利用レベルでの業務システムを、クラウド上で本格的に開発することができます

プラン	Standard	Gear1	Gear2
	APサーバスペック メモリ:8GB CPU:2	APサーバスペック メモリ:16GB CPU:4	APサーバスペック メモリ:32GB CPU:8
Smallプラン	¥273,500	¥300,000	¥340,000
Mediumプラン	¥426,500	¥480,000	¥530,000
Largeプラン	¥548,000	¥600,000	¥710,000
Developmentプラン	¥100,000	¥130,000	¥170,000

Accel-Mart Plusはこんな人にオススメです

- ✓ 全社規模で本格的に業務システムを開発・利用したい
- ✓ システム構築にかかっていた時間/コストをカットしたい
- ✓ 全社レベルでの大規模な業務改善から改革をしたい



Accel-Mart Plus 導入の流れ

01

お問い合わせ

まずはお気軽にお問い合わせください。担当営業よりお客様の課題点をヒアリングさせていただきます。

02

お見積り・ご発注

担当営業よりお客様にあったプランをご紹介させていただきます。

03

利用開始

お申し込み日より最短5営業日で、すぐに使える環境をご提供します。

04

お支払い・お振り込み

月額支払と開始月一括払いのどちらかを選択していただきます。

お気軽にお問い合わせください！

<https://www.accel-mart.com/contact/>



まずはお気軽にお問い合わせください。

弊社担当がお客様にあったプランをご紹介させていただきます。

<https://www.accel-mart.com/contact/>

31日間の無料お試し実施中

<https://www.accel-mart.com/trial/>